

室生ダムドローダウン操作
～出水期に備え貯水池の水位を下げています～

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所の管理する室生ダムでは、梅雨や台風による大雨が降る出水期（6月16日～10月15日）に備えて、洪水を貯め込むための容量を確保するために「ドローダウン」と呼ぶダムの貯水位を低下させる操作を5月16日から行っています。

また、貯水位を下げるために普段より多く放流する水を利用して、16日はダム下流の河川環境改善のためのフラッシュ放流を行いました（別紙参照）。

さらに、ダムの高低差を利用した水力発電も最大出力（560kw）となり、クリーンエネルギーの活用も図っています。

5月17日9時現在の貯水位 標高294.75m（約20cm/日低下）
■6月16日低下目標の貯水位 標高289.6m

平成25年5月17日



独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

名張市政記者クラブ

お問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 室生ダム管理所

所長代理 武澤

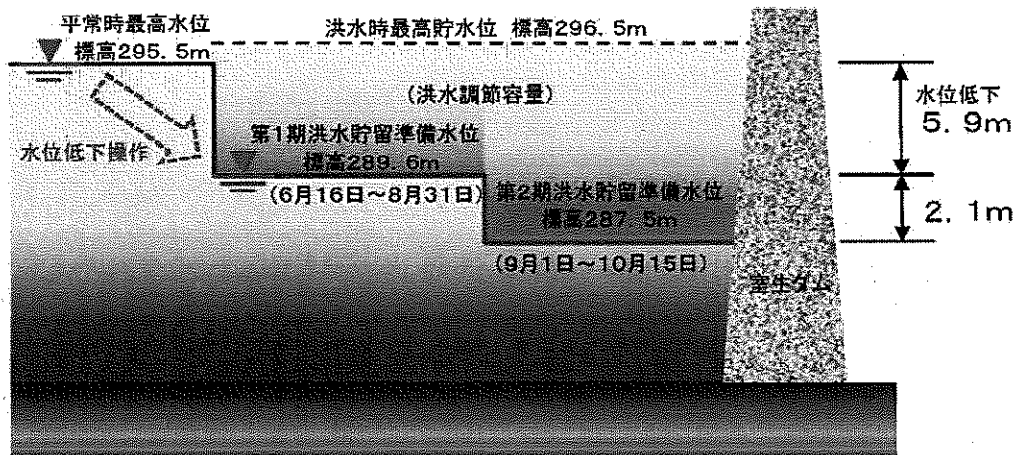
住所：奈良県宇陀市室生大野3846

電話：0745-92-2320（代表）

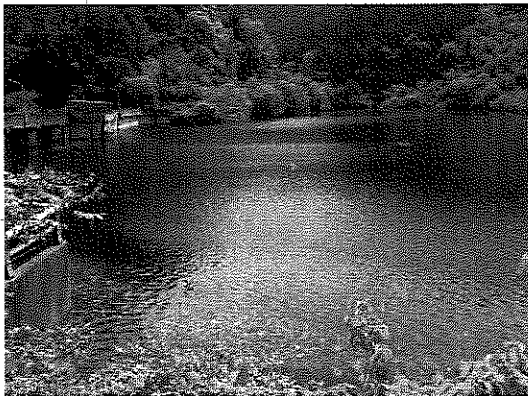
●室生ダムの位置



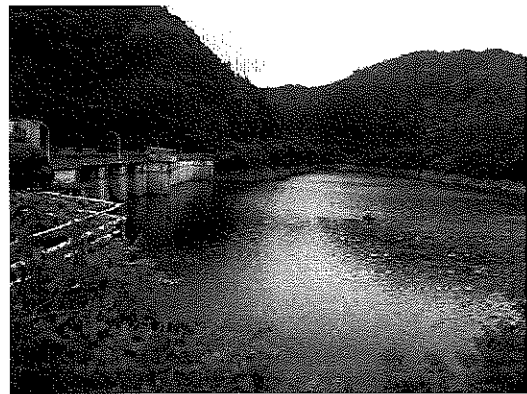
●室生ダムの貯水池水位低下操作概念図



●室生ダムの貯水池状況写真



平成25年5月16日の貯水池状況



平成24年6月16日の貯水池状況
(貯水位低下後の貯水池イメージ)

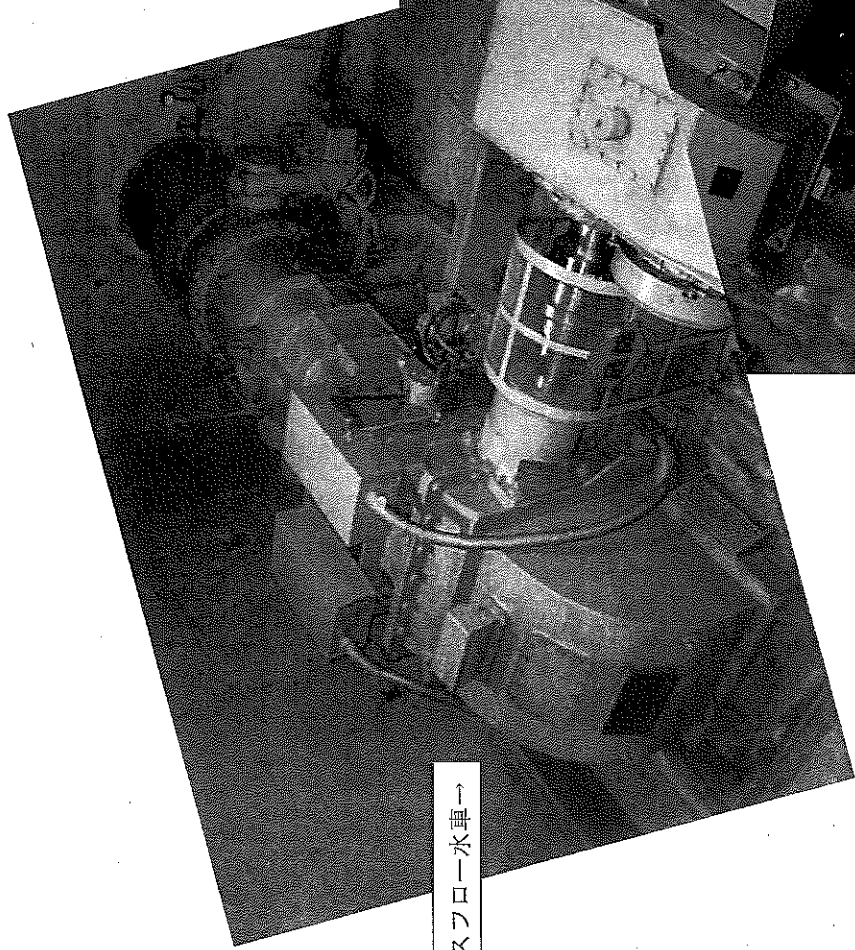
室生ダム管理用水力発電設備

— 発電設備諸元 —

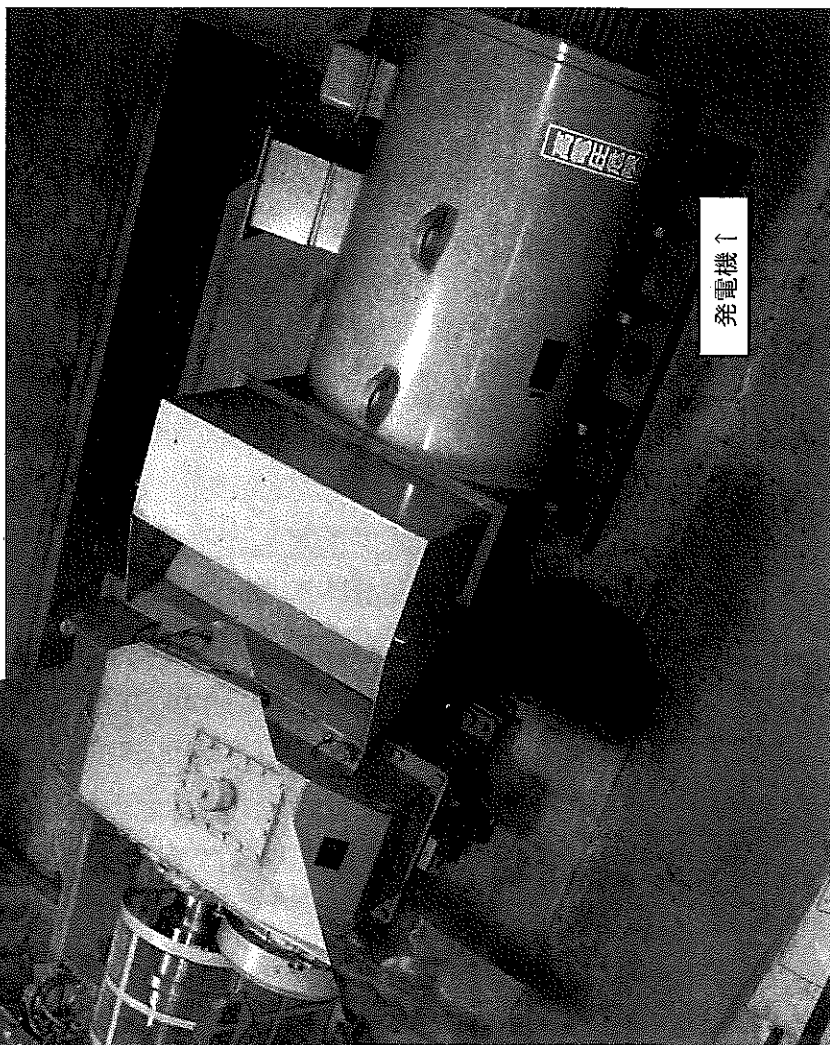
最大出力 560KW

使用水量 最大 1.8 m³/s

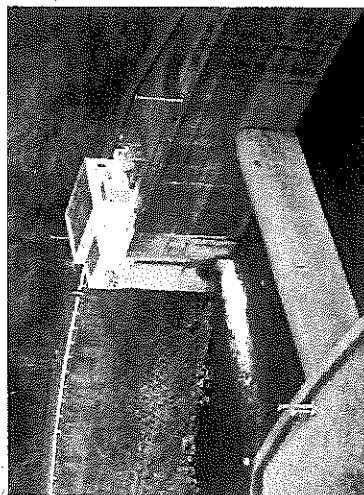
有効落差 最大 43.8 m



クロスフロー水車→

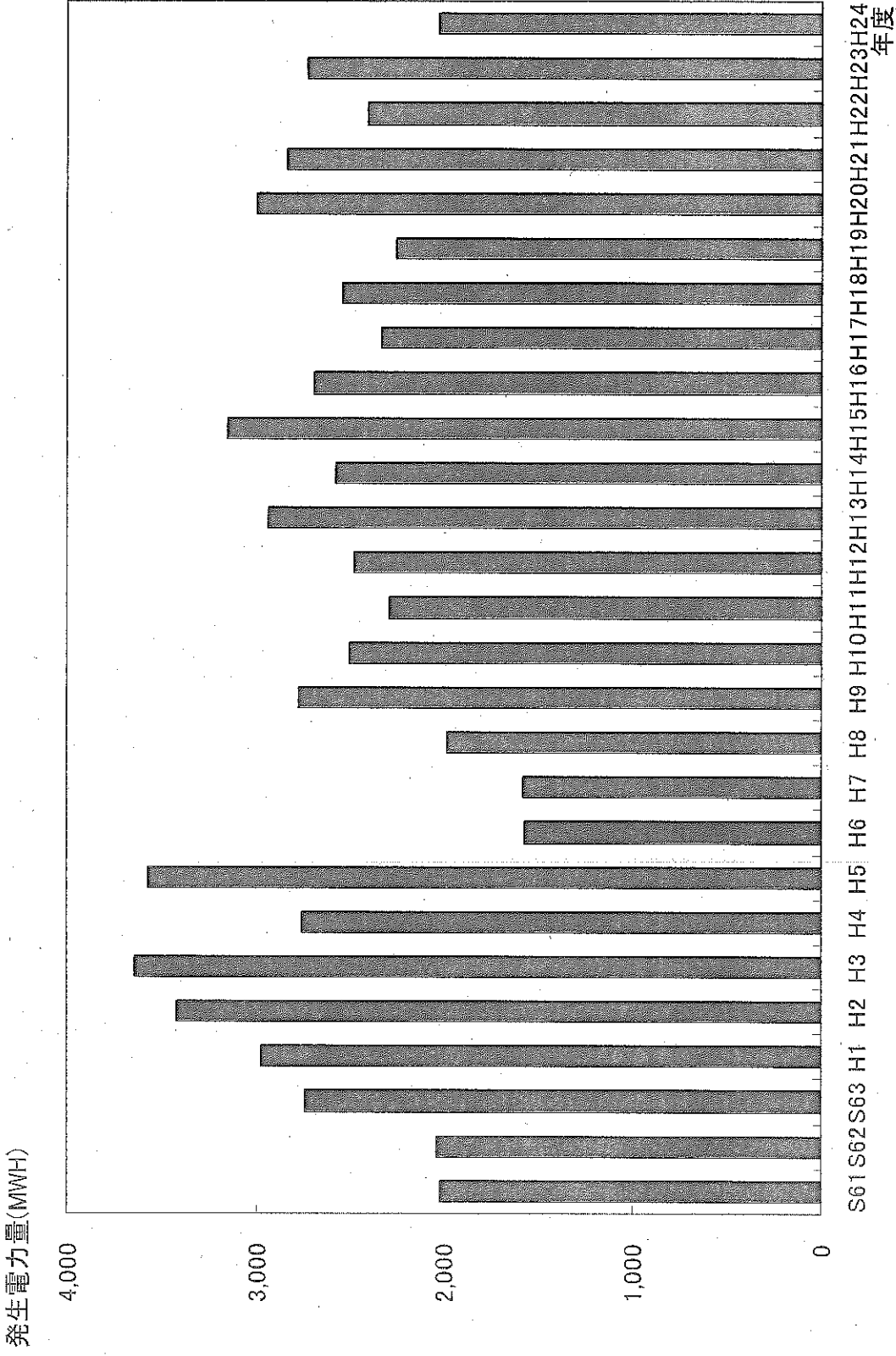


↑ 発電機



室生ダム発電所(ダム天端から撮影)

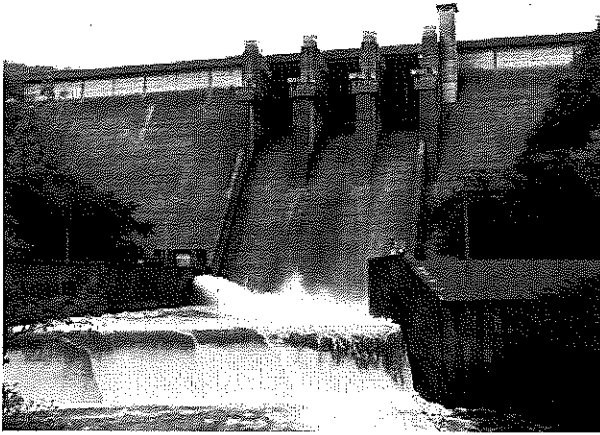
室生ダム管理用水力発電実績(発電開始からH24年度まで)



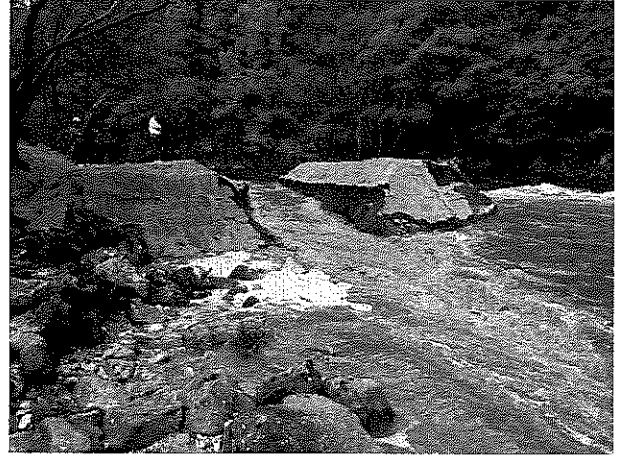
※発生電力量は貯水位や降雨等により変化します

<別紙>

室生ダムの水位低下操作に伴って実施されたフラッシュ放流状況(平成25年5月16日撮影)



室生ダムからの放流(最大約13m³/s)



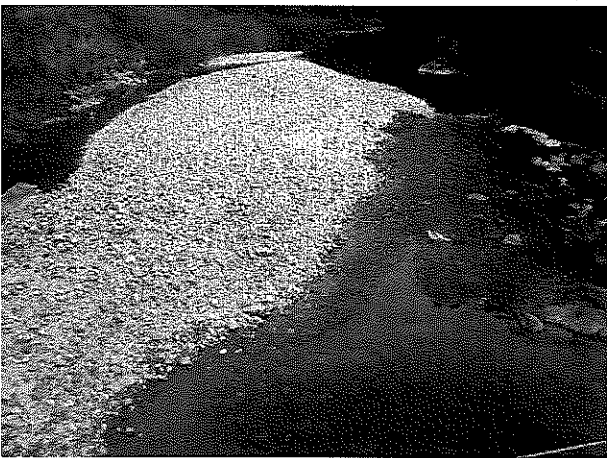
ダム下流の土砂還元



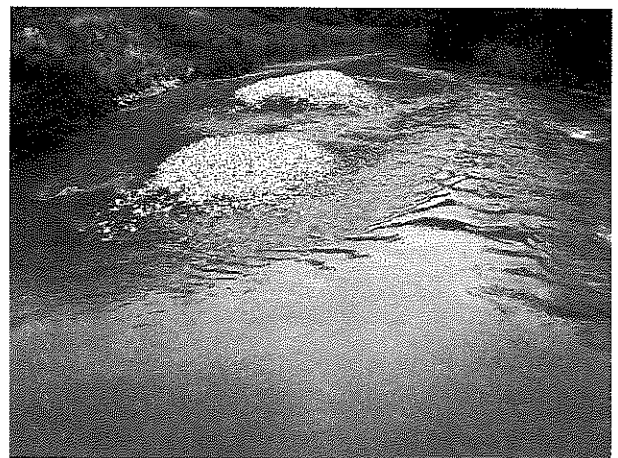
ダム下流(フラッシュ放流前)
※宇陀川と室生川合流点付近



ダム下流(フラッシュ放流後)



ダム下流(フラッシュ放流前)
※大野橋下流付近



ダム下流(フラッシュ放流後)

